

年頭のぞ挨拶

秩父別町長 澁谷 信人



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、令和3年の輝かしい新春をご家族お揃いで迎えられるましたこと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から町政に対する温かいご理解とご支援を賜り心から厚くお礼申し上げますとともに、本年も秩父別町発展のためにさらなるご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月16日に国内で最初の新型コロナウイルス感染症の患者が確認され、人類がかつて経験したことがない多くの課題に直面する中で、感染拡大を防止するために、国や北海道からイベントや外出の自粛・休校要請などがなされたところでありますが、町民の皆様方にはご協力をいただきましたことに厚く感謝を申し上げます。

とともに、公共施設の閉鎖などで大変ご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。町といたしましては、町民の皆様の生命と健康を守るために、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、感染予防の啓発や不足する不織布マスクの全戸配布を実施させていただきました。



マスクの仕分け作業

また、緊急経済対策として、全戸に地域振興券とグルメクーポンの配布のほか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている事業所の事業継続を支えるために、商工業者等緊急支援金、感染症

拡大防止協力金など必要な措置を講じたところであります。



地域振興券・グルメクーポン

さらに、家庭への支援として町独自の子育て応援給付金や新生児特別給付金、上下水道基本料金3か月分の免除、全町民を対象としたインフルエンザ予防接種費用の全額助成などを実施したほか、ICT環境の整備のために、小中学校の児童生徒1人1台のタブレット端末の購入や農村地区への光ファイバー整備導入経費の予算化を図るなど、新型コロナウイルス感染症対策を展開してきたところであります。



しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束にはまだ時間を要することから、今後引き続き、町民の皆様、生命と健康及び地域経済を守るため全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一方、安倍首相の退陣により9月に発足した菅内閣は、引き続き経済の再生を最重要課題と位置付け、規制改革、デジタル庁の新設などを掲げておりますが、地方は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでに経験したことがない厳しい状況に置かれております。

国には、一連の急進的な農政改革などにより影響を受ける農業分野も含め、地方の活性化に向けた効果的な政策を実現していただくよう強く願うところであります。

また、本町における基幹作物の水稲は、一時水不足が心配されましたが春先から好天に恵まれ、品質・収量ともに良く、作況指数107と2年連続の豊穣の出来秋を迎えることができました。

これもひとえに、農家の皆さんの適切な肥培管理と関係各位の心から敬意を表するところであります。



豊穣の出来秋を迎えることができました

一方、町の主な事業では、老朽化した温泉施設の宿泊棟の大規模改修、防災行政無線線のデジタル化更新、街路灯のLED化改修、キャ

ンプ場トイレ改築・歩道新設、公共施設照明改修、町道1条路線舗装改修、町営住宅長寿命化改修、2条排水機場長寿命化改修などに取り組んでまいりました。



更新後の防災行政無線放送卓

また、昨年4月から深川市内までの、バス利用助成を開始いたしました。また、タクシール成など各種助成事業を充実させ、さらに支えあいや、見守り活動などを通して、ご高齢の方がいづまでも安心して暮らし続けられるまちづくりを努めてまいります。

今後も行政サービスの充実と健全財政を堅持し、町民の皆様と共に同じ価値観を共有しながら「このまちに住んでよかった・生まれてよかった」と言っていただけけるまちづくりを職員と一丸となつて誠心誠意取り組みまいりますので、重ねてご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして明るく活気に満ち溢れ、幸多からんことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

町長	澁谷 信人
副町長	高鶴 公人
総務課長	永峰 敏幸
企画課長	早川 聡
住民課長	竹内 剛
産業課長	尾垣 義次
建設課長	中野 慎司
会計管理者	宮武 幸充
建設課技術長	結城 尊文
外職員一同	